



取締役社長 **鈴木 孝雄**

ごあいさつ

皆さまには、平素より大東銀行をお引き立て頂きまして、誠にありがとうございます。

この度、大東銀行をより一層ご理解頂けるよう、「平成29年3月期 大東銀行 ミニディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご高覧頂ければ幸いに存じます。

さて、当行の主たる営業基盤である福島県の経済動向をみますと、復興へ向けた取組みが続くもとで引き続き公共投資・住宅投資は高水準で推移しております。個人消費につきましては、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかではありますが持ち直しつつあります。

このような環境の中、地域の復興を後押しするため、事業を営むお客さまへの円滑な資金供給のほか、事業再生や事業承継など、ニーズに応じた経営支援を推進してまいりました。

また、昨年5月に稼働いたしました新基幹系システムの活用により、個人向けインターネットバンキングの24時間化などお客さまへのサービス向上に取り組んでまいりました。

そして本年度、当行は創立75周年を迎えます。この創立75周年を新たなスタートとして、これまで以上にきめ細やかなサービスの提供に努め、お取引先さま、地域の皆さま、株主さまにとって真に役に立つ銀行を目指してまいりますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

お客さまとともに
未来へ力強く
発展していくイメージ

お客さまとの
ふれあい

地域とのふれあい

シンボルマークの意味

当行のシンボルマークは、大東 (daito) のd (小文字) をモチーフに、全てなめらかな曲線を使った右上がりの6つの楕円で構成されており、音符 (♪) のイメージをオーバーラップさせてデザインされています。

また、お客さまや、地域とのふれあい、調和、いきいきと活動する大東銀行の一つひとつの個性が、知性が、情熱が集まり、連なり、大きな力となってダイナミックに未来へ飛躍していく姿を表現しています。